

インド洋の真珠＝スリランカの世界遺産



6件の世界遺産を巡るスリランカ縦断の旅
2019年3月10日(日)～3月16日(土)・5泊7日
旅行費用は全食事、空港税、燃料サーチャージ
等を含み
¥209,000



特定非営利活動法人

世界遺産アカデミー

シーギリヤの古代都市 / ii・iii・iv
シーギリヤ・ロックと右は山頂の王宮跡
左はフレスコ画＝シーギリヤ・レディ

仏教遺跡とインド洋のリゾート

今回の旅先は、“スリランカ”です。

スリランカは日本と同様の島国であり、日本と同じく、島全体に森林が広がる森林大国でもあります。この豊かな自然に囲まれて、魅力的で個性的な仏教遺跡が数多く存在する事も、日本と似ているかもしれません。

しかし、同じ仏教遺跡でも、スリランカの仏教は、上座部仏教であり、日本の寺院とは一味違う魅力を醸し出しています。

インド、ブッダガヤの大菩提寺に残る菩提樹。約2500年前に、仏陀が座して悟りを開いたのは、この菩提樹の下でした。スリランカの「**聖地アマラーダプラ**」には、ブッダガヤから分け木された菩提樹が、今も葉を茂らせています。

世界中の注目を集める世界遺産が「**シーギリヤの古代都市**」です。5世紀末に父王を殺し、王位を奪ったカッサバ1世は、巨岩の上に、ハーレムを持つ王宮を完成させました。約200mの高さでそそり立つ巨岩上の王宮は、11年の短命で幕を閉じますが、頂上には王宮の遺跡、途中の岩肌には、漆喰を塗った上に顔料を埋め込み描かれたハーレムの美女たちが集います。現存する美女は22体のみですが、かつては500体以上の美女が描かれていたそうです。

そして、スリランカの南端に近いゴールには「**ゴールの旧市街とその要塞**」が残ります。オランダが建設した植民都市は、敵からの攻撃に備え、頑強な要塞に囲まれていました。

ゴール近郊には、高級ビーチリゾートが広がります。

今回の旅行では、スリランカが生んだ偉大な**建築家=ジェフリー・パワ設計の傑作ホテル**に滞在します。

世界遺産だけでなく、インド洋を臨む高級リゾートホテルでの一夜も満喫してください。



写真左から
アマラーダプラの菩提樹

ゴールの要塞とインド洋

ジェフリー・パワ設計の
『**ジェットウイング・ライト
ハウス**』

日程表

日付	都市名	時間	交通機関	日程	食事	宿泊
2019 3/10 (日)	成田 ネコンボ コロombo	11:20 17:50	UL455	スリランカ航空にて一路ネコンボへ 到着後、専用車にてコロomboへ 着後ホテルへ。	夕食は 機内	コロombo
3/11 (月)	コロombo アヌラーダプラ シーギリヤ		専用車	朝食後、 聖地アヌラーダプラ へ(約3.5h) アヌラーダプラ観光(三大仏塔・菩提樹等) 見学後、シーギリヤへ。着後ホテルへ	朝 昼 夜	シーギリヤ
3/12 (火)	シーギリヤ	終日	専用車	朝食後、 シーギリヤの古代都市 へ (シーギリヤ・レディ、王宮跡等 ※山頂まで登ります。) 昼食後 ポロンナルワの古代都市 へ (仏歯寺、涅槃像等) 観光後ホテルへ(シーギリヤ2連泊)	朝 昼 夜	シーギリヤ
3/13 (水)	シーギリヤ ダンブッラ キャンディ		専用車	朝食後、 ダンブッラの黄金寺院 へ 石窟寺院群見学 昼食後、 聖地キャンディ へ(約1.5h) (キャンディの仏歯寺、バザール等) この日の夕食は伝統舞踊を楽しみながら	朝 昼 夜	キャンディ
3/14 (木)	キャンディ コロombo ゴール	終日	専用車	朝食後、ゴールへ(約4.5h) 途中コロomboにて昼食 コロombo市内観光後ゴールへ この日の宿泊はジェフリーパワ設計のホテル	朝 昼 夜	ゴール ジェットウ イングライ トハウス

日程表

日付	都市名	時間	交通機関	日程	食事	宿泊
2019 3/15 (金)	ゴール	終日	専用車	朝食後、 ゴールの旧市街と要塞見学 (旧市街を散策し、要塞建築を見学) 昼食後ネコンボへ(約2h) 空港到着後チェックイン スリランカ航空にて帰国の途へ	夕食は 自由	機内
3/16 (土)	成田	07:30		成田空港着、通関後解散	朝	



この旅のもう一つの楽しみ バワの傑作ホテルに宿泊します(ゴール)

ジェフリーバワ(1919-2003)-スリランカの生んだ偉大な建築家
スリランカ現地民族シンハラ人では無く、ヨーロッパの血をひく上流階級
出身。
19歳でイギリスケンブリッジ大学に留学、弁護士となり帰国するも再度
建築を志し、再留学。
1957年38歳から84歳までの建築家人生において、スリランカの自然、
歴史、文化を現代建築の融合させた後世に残る名建築を多数残した。
その作品群はホテル、公共施設、学校、住宅など多岐にわたる。



ジェットウィングライトハウス(Jetwing lighthouse)は、数あるバワ建築
の中でも「海」と「建築」の融合を最も演出するつくりになっています。
海岸沿いの特徴的な地形を活かしその形状に添うように設計されており、
目の前に臨むインド洋とその建築とがおりなす一体感は自然と建築の融合
を目指したバワ晩年の最高傑作とも言われています。
世界遺産にも登録されているゴールの旧市街は、周りを6m~20mにも及
ぶ高い城壁で囲まれています。
そんな要塞都市ゴールに建てられたジェットウィングライトハウスは、町
のシンボルである白い灯台を模してデザインされたことで「ライトハウ
ス」の名がつけました。

